



秩父における小水力発電の取り組み

地域コミュニティと専門分野に長けた人たちが
一体感を持った小水力発電事業の立ち上げ

ひの
陽野ふるさと電力株式会社 代表取締役 江田徹

本日の内容は、当社設立に至るまでの経緯を
重点的に説明いたします。

当社設立には、2団体が深く関わった。

地域コミュニティであり、当社の前身となった

陽野ふるさと会

地域コミュニティを再生発展させていくことを目的とした
各種スペシャリストが在籍する団体

鎮守の森コミュニティ推進協議会

陽野ふるさと会と鎮守の森コミュニティ推進協議会の出会い

環境省主体で動いていた「つなげよう支えよう森里川海ふるさと絵本づくり」プロジェクトで、当社地元を流れる荒川を題材にして両団体が出会ったことが小水力発電事業を立ち上げるきっかけとなった。

陽野ふるさと会

植樹や環境整備事業実施の費用を捻出するために収益性の高い事業を模索していた。

鎮守の森コミュニティ推進協議会

協議会メンバー内に全国小水力利用推進協議会メンバーなど
在籍していた。

どのように小水力発電事業が立ち上がっていったのか

役割分担

陽野ふるさと会

地元の折衝、行政手続きなど

鎮守の森コミュニティ推進協議会

事業計画立案、金融機関交渉など



当社の目的は？

小水力発電による再生可能エネルギーの売電収入をもとに、地域の環境整備や植樹、地域住民交流事業などを陽野ふるさと会と共に行い、持続可能な地域を作ること。



里山整備や植樹事業



地域住民の交流事業

肝心の発電状況（経営状況）はどうなっているか？

ここ数年、秩父地域で記録的少雨が続き、
発電量が伸び悩んでいる。



自然が相手なので、思うようにいかない。



資金ショートを防ぐために金融機関に協力をしてもらい、
返済計画の見直しなどで乗り切っている。

最近の状況

地域住民100%出資の小水力発電事業ということで、一般、企業様に限らず視察が多くなってきている。



既に小水力発電を行っている事業者の方も見学に来ている。

小水力発電事業が出来たポイントは？



● 地域の力（コミュニティの力）

● スペシャリストの協力

● 事業発足にあたり当事者が役割をしっかりと全うした。

見学のお申込み、詳細はホームページからご覧ください。

陽野ふるさと電力株式会社

検索



ホームページには今まで受けた
取材などの動画も掲載されています。